

産学連携ファンドに関する取り組み

株式会社地域経済活性化支援機構

Regional Economy Vitalization Corporation of Japan (REVIC)

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第2802号
加入協会 一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

令和2年 3 月 1 6 日

REVICの概要

会社概要

名称	株式会社 地域経済活性化支援機構 Regional Economy Vitalization Corporation of Japan (略称 REVIC)					
設立	平成21年10月14日（平成25年3月18日(株)企業再生支援機構より商号変更） 【支援・出資決定期限】令和3年3月末 【業務完了期限】令和8年3月末					
本社所在地	東京都千代田区大手町 1 - 6 - 1 大手町ビル 9 階					
資本金	131億380万円					
株主	預金保険機構、農林中央金庫					
役職員数	234名（令和2年1月1日現在）					
役員	代表取締役社長※	林 謙治	社外取締役※※	松嶋 英機	特別顧問	三村 明夫
	代表取締役専務	渡邊 准	社外取締役※	石村 等	執行役員	兵頭 賢
	常務取締役	伊野 彰洋	社外取締役※	根本 直子	執行役員	坂田 達也
	常務取締役	中石 斉孝	社外取締役※	樋渡 啓祐	執行役員	珍部 信輔
	取締役	竹山 智穂	社外取締役※	家森 信善	執行役員	大田原 博亮
	※※ 地域経済活性化支援委員会 委員長		監査役	古賀 直人	執行役員	坂本 啓晃
	※ 地域経済活性化支援委員会 委員		監査役	山崎 彰三	執行役員	安藤 年式
			監査役	西原 浩一郎	執行役員	赤松 忠幸
子会社	REVICキャピタル(株)、REVICパートナーズ(株)、(株)日本人材機構					

役割

- REVICは、地域金融機関が取り組む地域経済の活性化を、ソリューションの提供、実行支援の面からサポートする官民ファンドである。



事業運営の基本方針

1. 先導的な地域活性化・事業再生モデルの創造

個別事業者の再生のみならず、地域産業や企業グループ等の一体的再生や業態変革・業界再編等も視野に入れ、官民の英知を結集し成功事例を創出することで、経済の新陳代謝と活性化に資する先導的なモデルの創造に取り組みます。

2. 地域活性化・事業再生ノウハウの蓄積と浸透

REVICが持つ多様な枠組み・機能や他の支援機関との連携等により、地域活性化・事業再生ノウハウの全国的な蓄積と浸透を図ることを通じて、地域において自律的かつ持続的に地域活性化・事業再生が行われるよう、触媒としての役割を果たします。

3. 専門人材の確保と育成及び地域への還流

地域活性化・事業再生に不可欠な専門人材と経営人材の確保と育成を図るとともに、地域にこうした人材を還流させる機能を果たします。

業務実績状況（平成25年3月18日～令和元年12月31日）

業務	総計	内訳	
Ⅰ 特定専門家派遣業務 (決定件数/決定日基準)	197件	地方銀行向け	75件
		信金・信組等向け	54件
		その他	68件
Ⅱ ファンド運営・出資業務 (ファンド組成：組成件数/組成日基準)	組成 42本 うち運営中 33本	活性化ファンド	34本
		再生ファンド	4本
		災害復興支援ファンド	4本
	LP出資 25先	REVICが運営している先	20先
		REVIC以外が運営している先	5先
Ⅲ 再チャレンジ支援業務 ※1 (決定件数/決定日基準)	112件	公表案件	0件
		非公表案件	112件
Ⅳ 事業再生支援業務 ※2 (決定件数/決定日基準)	111件	公表案件	68件
		非公表案件	43件

※1 平成26年10月14日以降の実績

※2 平成21年10月14日（前身の企業再生支援機構）以降の実績

大学発産学連携ファンド

しまね大学発・産学連携ファンド（2015年1月1日組成） とっとり大学発・産学連携ファンド（2015年1月1日組成）

活性化 ファンド

REVICプレスリリース（2015年1月5日公表）

News Release

地域経済活性化支援機構

2015年1月5日

株式会社山陰合同銀行との「しまね大学発・産学連携投資事業有限責任組合」 の設立について

株式会社地域経済活性化支援機構は、株式会社山陰合同銀行との間において、地域経済の活性化に資する産学連携の推進を目的とする「しまね大学発・産学連携投資事業有限責任組合」を、REVIC キャピタル株式会社およびごうぎんキャピタル株式会社を無限責任組合員として、本年1月1日に 設立しましたのでお知らせいたします。

地域経済の活性化においては、地域発企業の活躍が大いに期待されるところです。その切り口のひとつとして、地域における潜在的な知的資源に着目し、これらを事業化・収益化することが挙げられます。特に本ファンドにおいては、地域の大学の力を、事業化・収益化の視点から積極的に活かすことを通じて、地域に活力をもたらすイノベーション企業の発掘・育成、ならびに新事業の創造を目指しています。

本ファンドの概要は以下の通りです。

名称	しまね大学発・産学連携投資事業有限責任組合
ファンド金額	10 億 2,000 万円
組合員構成	株式会社山陰合同銀行 ごうぎんキャピタル株式会社 REVIC キャピタル株式会社
設立日	平成 27 年1月1日
存続期間	設立日より7年6ヶ月
業務運営者	ごうぎんキャピタル株式会社 REVIC キャピタル株式会社
主な投資対象	鳥根大学の保有するシーズを基にした起業 鳥根大学の保有するシーズを技術移転し事業化を図る既存企業 等

News Release

地域経済活性化支援機構

2015年1月5日

株式会社山陰合同銀行との「とっとり大学発・産学連携投資事業有限責任組合」 の設立について

株式会社地域経済活性化支援機構は、株式会社山陰合同銀行との間において、地域経済の活性化に資する産学連携の推進を目的とする「とっとり大学発・産学連携投資事業有限責任組合」を、REVIC キャピタル株式会社およびごうぎんキャピタル株式会社を無限責任組合員として、本年1月1日に 設立しましたのでお知らせいたします。

地域経済の活性化においては、地域発企業の活躍が大いに期待されるところです。その切り口のひとつとして、地域における潜在的な知的資源に着目し、これらを事業化・収益化することが挙げられます。特に本ファンドにおいては、地域の大学の力を、事業化・収益化の視点から積極的に活かすことを通じて、地域に活力をもたらすイノベーション企業の発掘・育成、ならびに新事業の創造を目指しています。

本ファンドの概要は以下の通りです。

名称	とっとり大学発・産学連携投資事業有限責任組合
ファンド金額	10 億 2,000 万円
組合員構成	株式会社山陰合同銀行 ごうぎんキャピタル株式会社 REVIC キャピタル株式会社
設立日	平成 27 年1月1日
存続期間	設立日より7年6ヶ月
業務運営者	ごうぎんキャピタル株式会社 REVIC キャピタル株式会社
主な投資対象	鳥取大学の保有するシーズを基にした起業 鳥取大学の保有するシーズを技術移転し事業化を図る既存企業 等

しまね大学発・産学連携ファンド（2015年1月1日組成） とっとり大学発・産学連携ファンド（2015年1月1日組成）

活性化 ファンド

山陰合同銀行プレスリリース（2015年1月5日公表）

平成 27 年 1 月 5 日

株式会社 山陰合同銀行

「とっとり大学発・産学連携投資事業有限責任組合」および
「しまね大学発・産学連携投資事業有限責任組合」の設立について

山陰合同銀行（頭取 久保田 一朗）は、大学発のベンチャービジネスを資金、経営面でサポートすることを目的に、大学発・産学連携ファンド（名称：「とっとり大学発・産学連携投資事業有限責任組合」および「しまね大学発・産学連携投資事業有限責任組合」、以下「ファンド」という。）を平成 27 年 1 月 1 日に設立しましたのでお知らせいたします。

これらのファンドは鳥取大学、島根大学が保有する特許などの知的財産や研究成果を活用したベンチャービジネスに対して投資を行います。ファンドの運営には、外部専門家を招聘することによって、ベンチャービジネスに対する目利き力を高め、事業化をしっかりとサポートしてまいります。

当行は、やる気のある経営者や新たなビジネスに挑戦する起業家にチャンスを提供し、地域で新たな事業、産業を創造し、雇用の創出、地域経済の活性化を目指してまいります。

【ファンドの概要】

	とっとり大学発・ 産学連携投資事業有限責任組合	しまね大学発・ 産学連携投資事業有限責任組合
ファンド総額	10億2,000万円	10億2,000万円
投資対象	①鳥取大学の研究シーズを基にした起業 ②鳥取大学の研究シーズを技術移転し事業化を図る既存企業	①島根大学の研究シーズを基にした起業 ②島根大学の研究シーズを技術移転し事業化を図る既存企業
設立日	平成 27 年 1 月 1 日	平成 27 年 1 月 1 日
存続期間	設立日より 7 年 6 ヶ月 （期限：平成 34 年 6 月 30 日）	設立日より 7 年 6 ヶ月 （期限：平成 34 年 6 月 30 日）
出資者	山陰合同銀行 ごうざんキャピタル REVICキャピタル	山陰合同銀行 ごうざんキャピタル REVICキャピタル
ファンド運営者	ごうざんキャピタル REVICキャピタル	ごうざんキャピタル REVICキャピタル

＜大学発・産学連携ファンドのイメージ図＞

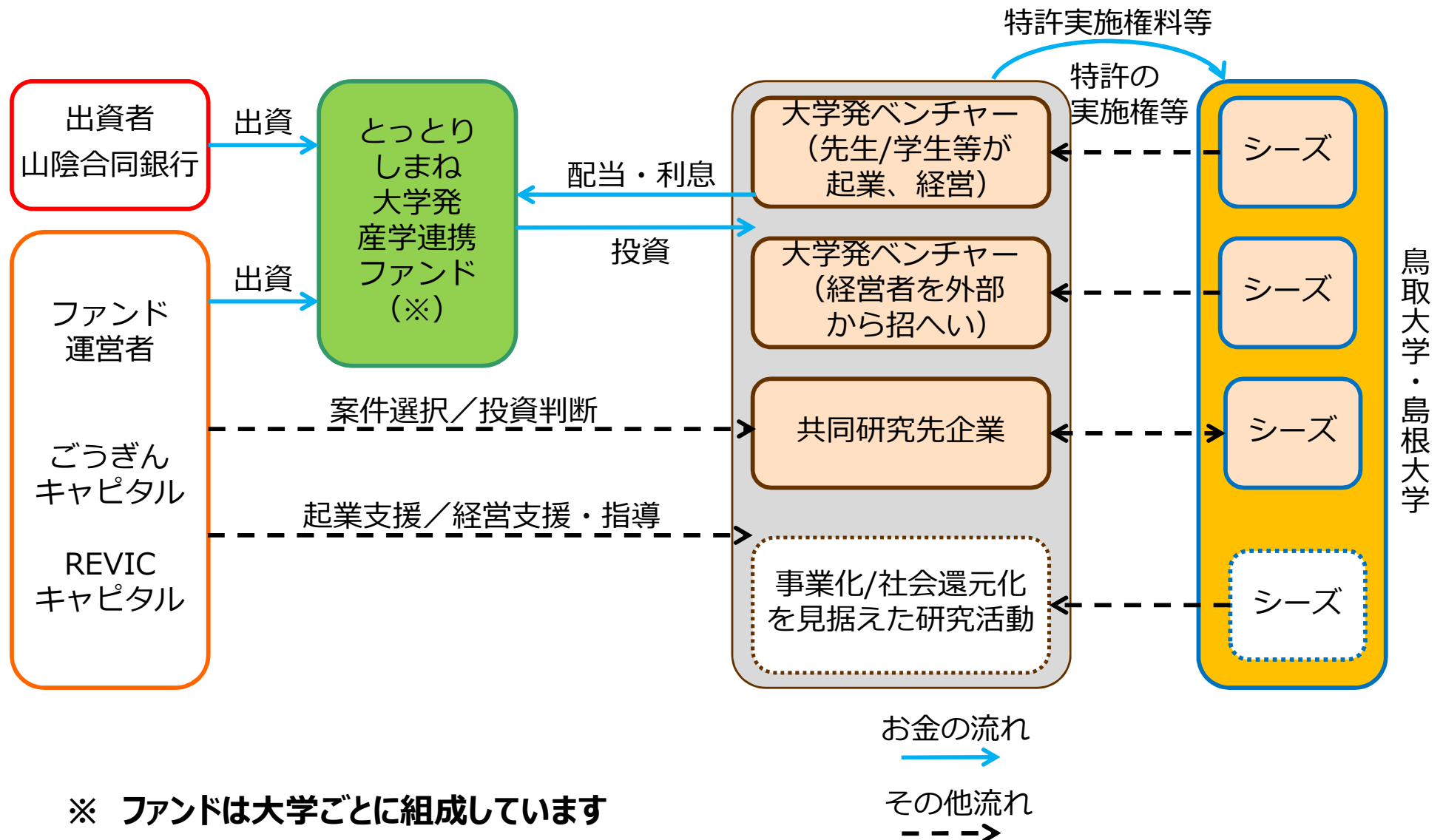


※REVICキャピタルは株式会社近畿経済活性化支援機構のファンド運営を行う子会社です。

とっとり・しまねファンド概要

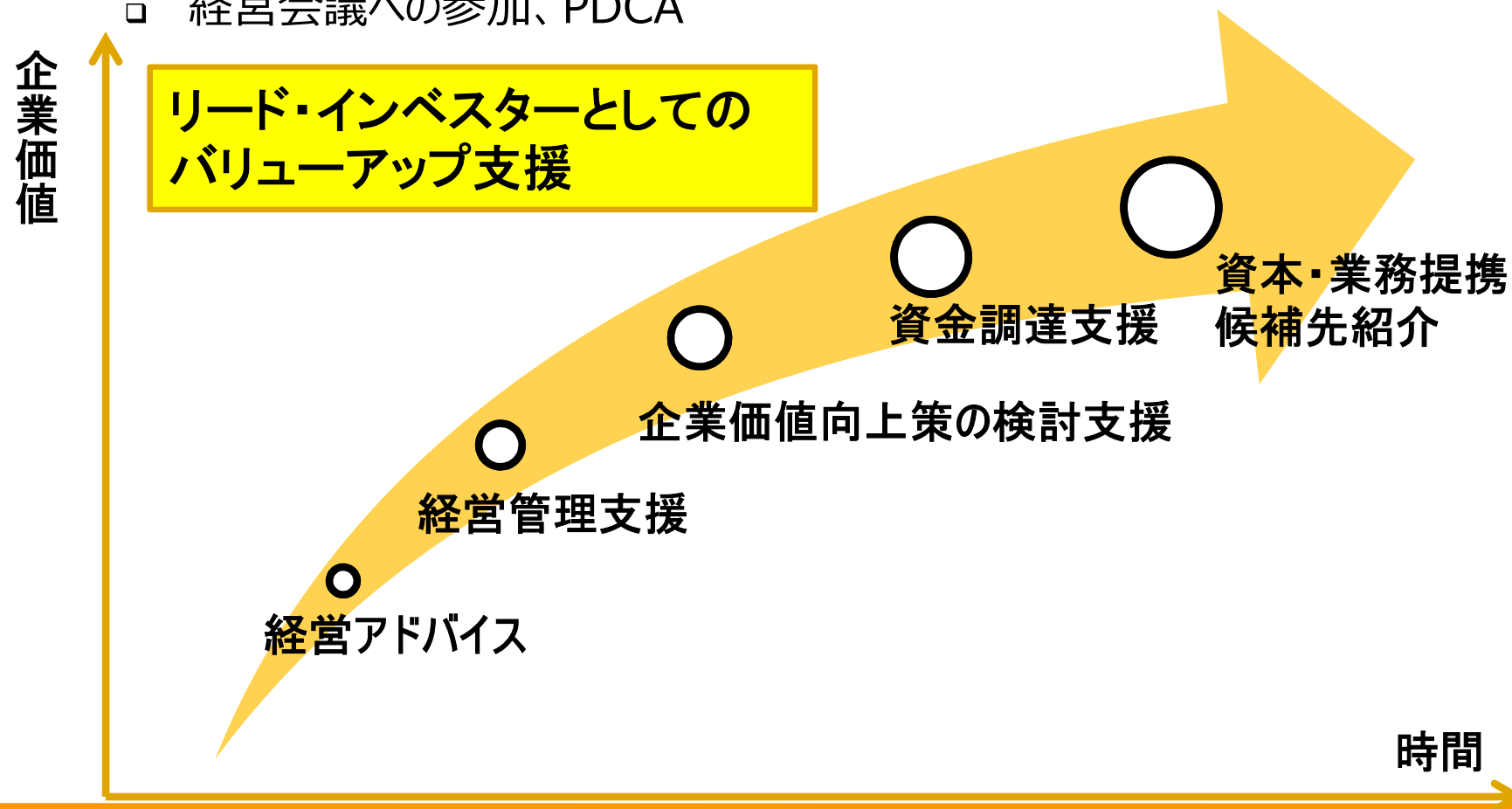
- しまね大学発・産学連携ファンド、とっとり大学発・産学連携ファンド概要
 - 山陰合同銀行（LP）・ごうぎんキャピタル（RCと共同GP）とファンド組成
 - 2015/1/1組成～2022/6/30迄（しまね10.2億円、とっとり15.2億円）
 - 地域活性化で目指す成功モデル
 - 産学連携モデル（テクノロジー×マーケット×マネジメント）
 - 起業支援モデル（起業～安定成長/雇用創出＋支援インフラ構築）
 - 銀行・キャピタル会社とのコラボレーションと最終的なノウハウ移転
 - 山陰合同銀行/GCPとの協働による、投資検討プロセス～EXITまでのナレッジシェア
- 投資の基本スタンス
 - 少数精鋭厳選投資
 - リスク「分散」ポートフォリオ型ではなく、個別経営「集中」支援型
 - リードインベスター
 - マジョリティでの株式出資、投資後のガバナンス・ハンズオン

とっとり・しまね大学発・産学連携ファンドスキーム



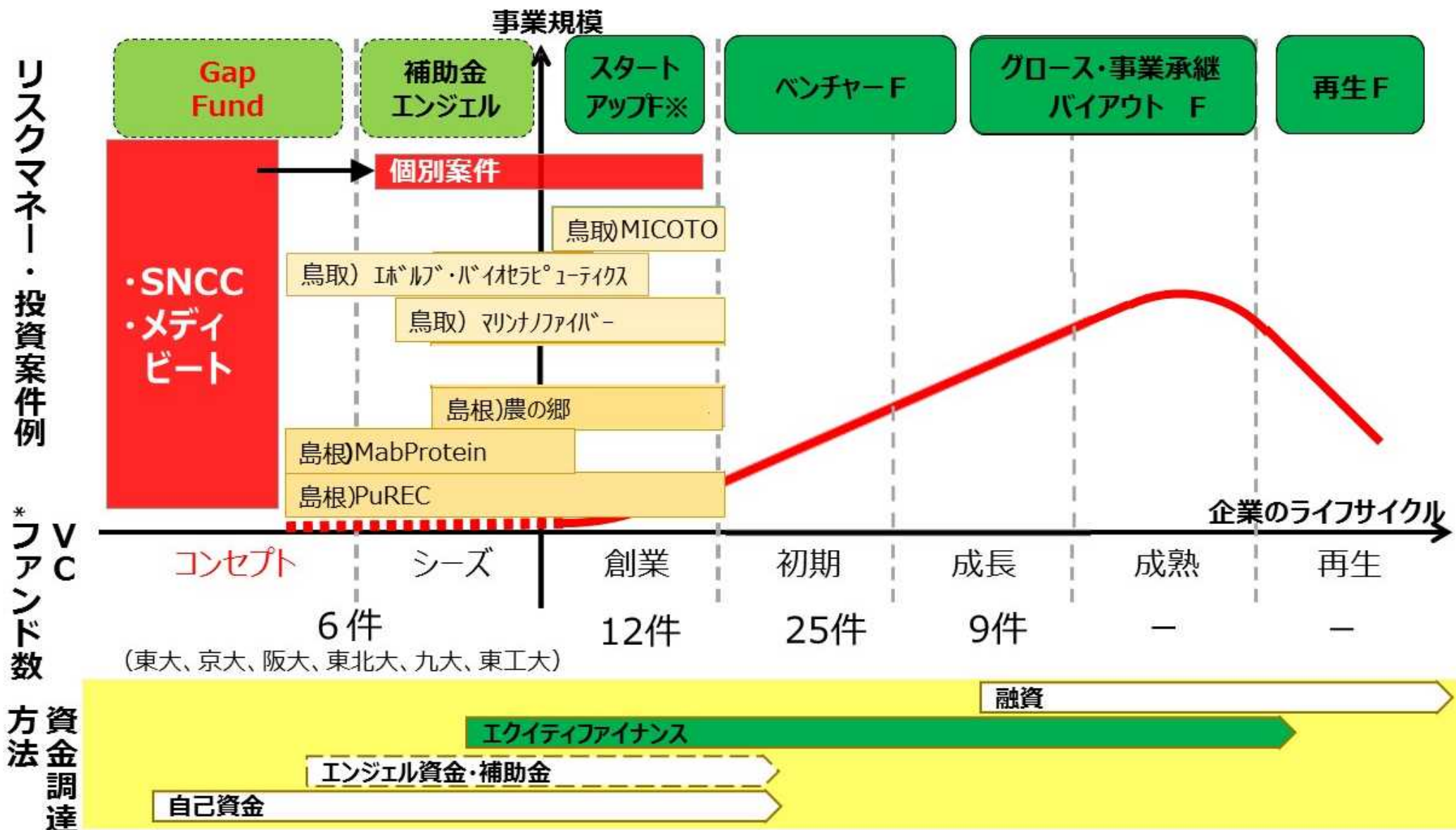
ファンドによる、投資先企業の成長加速に向けた支援機能

- 投資先の企業価値向上をサポート
 - 『企業価値』の最大化＝『成長』の加速＋『利益』の増加
- 価値向上（バリューアップ）のアプローチ
 - 事業機会の徹底的な追求と計画化・アクションプランへの落とし込み
 - 経営会議への参加、PDCA



企業のライフステージとリスクマネー・投資案件

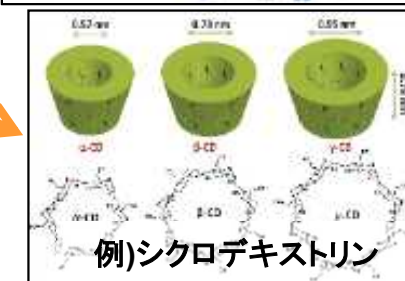
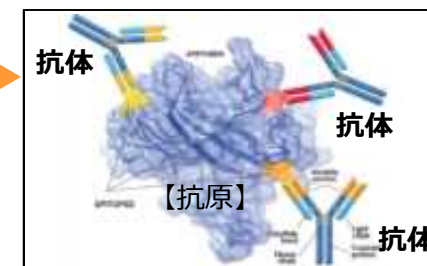
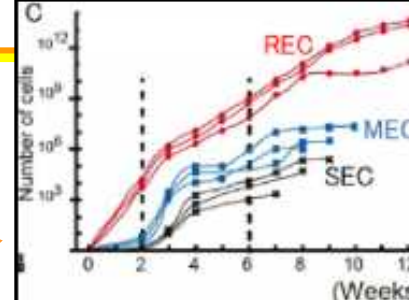
当ファンドはスタートアップ技術に対して個別投資を行ってきた。SNCC/メディビート社は、より早いコンセプトステージの技術ポートフォリオに投資し、比較的早い段階でEXITに繋がりそうな技術を多数スクリーニングする



投資先一覧

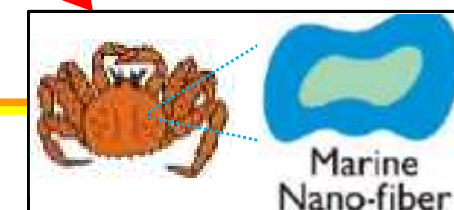
■ しまね大学発・産学連携ファンド

- **PuREC(株)**：間葉系幹細胞のR&D（松崎教授）
 - RECを用いた再生医療の新標準を目指し、臨床研究の準備段階
- **(株)農の郷**：アイメック農法のトマト・メーカー（松本（敏）教授）
 - 高付加価値型トマトの新規植物工場設立とブランディング
- **(株)mAbProtein**：抗体のR&D（浦野教授）
 - 抗体を用いた研究試薬、診断薬、医薬(シーズ)の開発・製造・販売
- **(株)S-Nanotech Co-Creation**：ナノテックのR&D(藤田教授)
 - ナノテクノロジーの研究、同技術を用いた製品の開発・製造・販売



■ とっとり大学発・産学連携ファンド

- **(株)MICOTOテクノロジー**：医療シミュレーター等のメーカー（医学部全般）
 - ロボット会社と鳥大医学部の診療科横断的なジョイントプロジェクト
- **(株)マリンナノファイバー**：機能性素材のメーカー（伊福教授）
 - キチンナノファイバーを使った商品開発と用途市場開発の仕組み作り
- **(株)エボルブ・バイオセラピューティクス**：がんウイルス薬のR&D（中村准教授）
 - がんウイルスを用いた医薬(シーズ)の開発・製造・販売
- **(株)メディビート**：医療機器などのR&D・製造・販売（山岸 元産学連携担当）
 - 医療現場のシーズ・ニーズ・ウォンツの事業化支援



大学発産学連携ファンドの全体像（REVIC専門家派遣の場合）

